

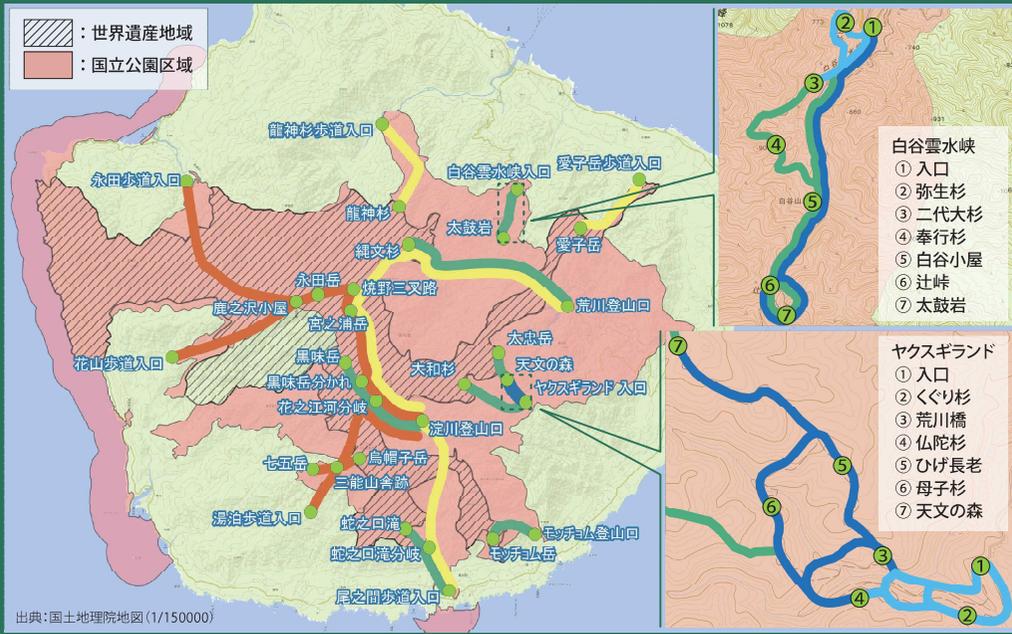
山の利用体験ランク

未来像・目標から想定される利用体験の質を5段階に区分し、登山ルート毎に利用体験ランクを設定

※全29ルートの内、一部を掲載。その他のルートや、より詳細な情報は下記の屋久島世界遺産センターHP参照。

1	自然にふれあう探勝ルート	ランク1：白谷雲水峡(弥生杉コース)	ランク2：白谷雲水峡(辻峠～太鼓岩往復)
2	自然を楽しむトレッキングルート		
3	自然を体感できる登山道		
4	原生的な自然を体感できる登山道		
5	原生的かつ荘厳な自然を深く体感できる登山道		

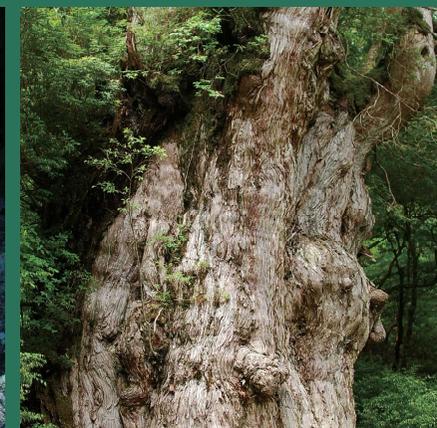
※未整備の区間が多く、渡渉や道迷いのリスクも非常に高いルート。リスク管理は自己責任が前提となる。



屋久島山岳部ビジョン

【概要版】

屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部適正利用ビジョン





山を畏れ 山に学び 山を楽しむ

— 山・里・海の魅力あふれる屋久島 —

屋久島山岳部ビジョンとは？

目標を定め、世界自然遺産、国立公園として評価された屋久島山岳部の自然を保護し、屋久島らしい質の高い体験を提供するために今後の方向性と取組みを整理したもの

評価された自然

広大で原生的な自然景観



多様な独自の生態系



現在の主な課題

ビジョンに沿った登山道の整備と良好な利用環境の創出



宮之浦岳ルートでの浸食・崩壊



混雑する縄文デッキ

トイレ等山岳部施設の適切な管理



汲み取り式トイレのし尿搬出

現場の担い手確保



近自然工法の合同研修

未来像・目標（50年後の目指す姿）

原生性と神聖性、自然の恵みと厳しさが残る山

巨樹巨木の森など原生的で荘厳な森林景観を歩いて見ながら、悠久の時の流れ、自然の恵みや厳しさを感じることができる



登山入門者から経験者まで自然を深く堪能できる山

登山者は技術・体力・求める体験の質に応じて登山ルートを選択し、深い学びを得ることができ、そのルートは体験の質や安全度など管理方針に応じた維持管理がされている



人と自然の関わり方、新しい山の文化を発信する山

島外の人々に島の伝統的な自然観や人と自然の関わり方を学ぶ機会を提供し、島民は歴史を踏まえた時代に合った新しい山との関わりを構築し、島内外に新しい山の文化を提供し続けている



目標達成に向けた基本方針、取組み

- ① 自然環境の厳正な保護
あるべき利用体験ランク設定
- ② 過不足のない適切な管理
施設整備、維持管理水準設定
- ③ 登山ルートごとの利用、管理方針の設定
利用体験ランクごとの整備・管理方針の設定
- ④ 情報の発信及び提供
電子媒体(Twitter等)、標識の活用
- ⑤ 管理者の責務遂行、関係者と連携した管理
各種委員会の開催、情報の共有
- ⑥ 体験の質や自然環境の影響把握、対応実施基準の明確化
各種モニタリング及び調査の実施
- ⑦ 人と自然の関わり等を学ぶ機会の提供
出前授業、屋久島学ソサエティの実施
- ⑧ 人と自然の関わりに配慮した管理
ルールガイド、マナーガイドの作成
- ⑨ 様々な関係者を巻き込んだ管理体制
地域連絡会議、各種委員会の開催
- ⑩ 自然環境の厳正な保護、質の高い利用体験の提供
利用体験ランクごとの誘導方法を提供

1	自然にふれあう探勝ルート	例：白谷雲水峡（弥生杉コース）	①
2	自然を楽しむトレッキングルート	例：白谷雲水峡（辻峠～太鼓岩往復）	
3	自然を体験できる登山道	例：モッコム岳往復	
4	原生的な自然を体験できる登山道	例：淀川入口～宮之浦岳往復	
5	原生的かつ荘厳な自然を深く体験できる登山道	例：淀川入口～宮之浦岳～永田岳～花山歩道入口	



フォロー

荒川登山バス運行状況
@yakusansharyou

屋久島の荒川登山口（縄文杉登山口）へ至る荒川登山バスの運行状況をお知らせしております。



概ね10年毎にビジョンの達成及び課題解決状況を評価、世界遺産及び国立公園の管理に反映していく